

《参加者募集》

2015年2月～2015年11月開催(全10回)

第4期

社内広報担当者 交流会議

◆開催主旨

企業におけるグローバル化の進展や雇用関係の変化等によって、今、社内広報の重要性がますます高まりつつあります。社内広報の代表的なツールである社内報も、印刷媒体全盛の時代からネットの時代へと変わり、その制作手法や考え方も大きく変わってきています。どうすれば効果的な社内報をつくり、目指す社内広報を実現できるのでしょうか。

本交流会議では様々な分野で活躍する実務家、研究者、コンサルタント、学者などから具体的な実践ノウハウを学び、自社の現状と照らし合わせながら意見交換を行ないます。

また、設定した研究テーマについて情報交換・討議・研究し、研究した成果を共有化し、本音の情報・ノウハウの交換、そして総括討議を行ないます。多彩な講師陣との交流や異業種のメンバーの方々とのフランクな議論は、新たな発想や人脈作りのスキルという点でも今後の大きな財産になります。

開催にあたり上記の活動主旨にご賛同いただける意欲的かつ熱意あるメンバーの参加をご期待申し上げる次第です。

開催日	テーマ・講師	〈敬称略〉
2015年 2月27日(金)	「三菱重工のグループ内広報の取り組み」 ～グループ報「Global Arch」について～ 【講師】三菱重工業 グループ戦略推進室広報部ブランド戦略グループ担当課長 高橋 弘行 《プログラム》 1. 会社概要 2. グループ内広報体制、媒体 3. グループ報「Global Arch」の取り組み 4. クロスメディアの事例紹介 5. 今後の展望	
	1994年 三菱重工業 入社。 シールドマシン、文化・スポーツ・レジャー施設の営業を担当 2007年 広報・IR部(現広報部)へ異動。 IR業務、展示施設やウェブサイトの企画・運営業務を担当 2012年 三菱重工グループ報『Global Arch』の立ち上げを担当 2013年 『Global Arch』を創刊し、初代編集責任者を務める	《略歴》

開催日	テーマ・講師	〈敬称略〉
3月27日(金)	「日立製作所の社内広報の取り組み」 【講師】 日立製作所 ブランド・コミュニケーション本部広報・IR 部部長代理	丸尾 陽司
4月24日(金)	「ローソンの社内広報の取り組み」 【講師】 ローソン ヒューマンリソースステーション元気推進	児島 聡
5月22日(金) ・ 23日(土)	【合宿研究会（琵琶湖）】 ・SG ホールディングスの保養施設「レークさがわ」で宿泊と研修 ・佐川美術館見学 ◆『佐川急便の社内報「HIKYAKU」と女性従業員向け冊子「Waku-Waku」の取り組み』 【講師】 SG ホールディングス 社長室広報・CSR ユニットマネジャー 兼 佐川急便 広報部広報課課長 山口 真富貴 ◆メンバー交流シートを基にグループ討議 ◆ビジネスパーソン基礎力養成「日本文化体感プログラム」国宝彦根城と城下町を訪ねる ～日本らしさを学ぶことは我が国広報パーソンにとって重要！！～ 【講師】 歴史街道推進協議会 事務局次長・事業企画推進部部長	松枝 健夫

◆開催要領

《期間》2015年2月～2015年11月(全10回) 《日時》原則として毎月1回 14:00～17:00

14:00～15:30

1.ゲスト講演

★ゲスト講演またはメンバー発表

様々な分野で活躍する実務家、研究者、コンサルタント学者などを幅広く招聘し知見を広めます。

15:40～17:00

2.グループ討議

★グループに分かれて、各社の情報交換を行います。

〈敬称略〉

会場	企業研究会セミナールーム
参加対象	広報部、総務部、企画部門などの方々
コーディネーター	歴史街道推進協議会 事務局次長・事業企画推進部部長 (元パナソニック グローバルコミュニケーション推進総括部長) 松枝 健夫 【略 歴】 1977年松下電器産業入社。AV商品の事業部国内家電営業を15年間担当。その間、西武セゾングループ国内留学。営業本部のマーケティング部門新規市場開発に従事。1997年広報本部広報編集部にて松下グループ社内報季刊『松風』編集長。2002年社内報『pana』創刊。初代編集長。社内広報総括部長、グローバルコミュニケーション推進総括部長を経て2010年秘書グループ関西財界担当。歴史街道推進協議会出向。日本経団連社内広報センター委員会代表幹事。日本広報学会常任理事。
幹事	アステラス製薬 広報部コミュニケーショングループ課長 芦沢 祐子
	リコー 総合経営企画室コーポレートコミュニケーションセンター広報室 梅田 尚幸
	リクルートホールディングス 中長期戦略室グループ社内広報部 後藤 朋美

◆年間プログラム(2015年2月～2015年11月)

第1回 例会	第2回 例会	第3回 例会	第4回 例会	第5回 例会	第6回 例会	第7回 例会	第8回 例会	第9回 例会	第10回 例会
2/27(金)	3/27(金)	4/24(金)	5/22(金) ・23(金) 合宿研究会	6/12(金)	7/24(金)	8/28(金)	9/25(金)	10/23(金)	11/27(金)

◆全体討議又はグループ討議での例示テーマ

1. 社内広報の基礎

- (1)社内広報の役割
- (2)企業理念をいかに浸透させるか
- (3)ビジョンの実践をいかに促進するか
 - ・どんな企画で
 - ・どんな媒体で
- (4)社内広報の定義、社内広報の具体的活動、社内報の発行目的と編集方針
- (5)企画・編集の流れ、情報収集の仕組み
- (6)取材力・文章力・レイアウト・写真
- (7)最適な媒体フォーメーション 電子媒体と印刷媒体

2. 企画編集力

- (1)企画会議について ・やり方 ・悩み
- (2)企画編集力を高めるには
 - ・情報の付加価値創造について
 - ・デザインの重要性
 - ・企画を通すには
- (3)行動を促す特集企画、常設企画
 - ・企業風土を変える特集
 - ・共感を呼ぶ企画
 - ・役立つ企画
 - ・気付きを促す企画
 - ・警鐘を鳴らす企画
 - ・家族にも感動を与える企画

3. WEB社内広報

- (1)WEB社内広報の特長(迅速性、検索性、関連性)
- (2)イントラの構築、機能
- (3)情報収集、発信計画、発信基準、発信頻度、編集体制
- (4)媒体の特性と有効コンテンツ

- (5)最適な媒体のフォーメーション 電子媒体と印刷媒体
- (6)WEB社内報のレイアウトや注意点
- (7)非正規社員へのWeb対応
- (8)社内SNS

4. グローバル&グループ社内広報

- (1)グループ報とは何か
 - ・目的とコンテンツ
 - ・グループ報／分社報／事業場報との差異
- (2)ブランディングと社内報
- (3)グローバル&グループ報の役割
- (4)グローバル&グループ報で共有すべき情報
- (5)多言語対応と配布・配信システム、編集体制
- (6)分社関係会社報とグローバル&グループ報の関係

5. 社内広報担当者の育成と効果測定

- (1)社内広報担当者の育成
 - 広報における育成ローテーション
- (2)編集長の役割、アウトソーシングの留意点
- (3)社内広報の効果測定と生かし方

6. 社内広報におけるクライシス・マネジメント(危機管理)

- (1)各社社内報の震災対応発信
- (2)危機とは何か
- (3)危機の分類 自社にとって適切な分類
- (4)危機を乗り越えるために社内に徹底すべきこと
- (5)非常時こそ企業文化が問われる
- (6)禍を転じて福となす
- (7)個人情報について
- (8)ソーシャルメディアと情報漏洩リスク
- (9)プライバシーポリシーや
情報セキュリティポリシーなどの基本方針

◆第3期活動経過(2014年2月～11月)

◆2 / 28 (金)

「丸紅の社内広報の取り組み
～WEB 社内報を中心にしたメディア連携戦略～」
丸紅 広報部企画課 稲村 明子

◆3 / 28 (金) JAL 見学会

「JAL グループ社内報の取り組み」
～経営破たんを経て、社内報をどう変えたのか～
日本航空 広報部企画グループ 黒飛 伊織

◆4 / 25 (金)

「共感とインナーブランディングを志向するキャノンの社内広報の取り組み」
キャノン グループ社内報室課長 中江 達之

◆5 / 23・24 (金) 土 合宿研究会

「村田製作所見学会」
村田製作所 広報室長 野村 佳弘

1. ムラタの概況
2. ムラタのブランディング活動
 - ・これまでの取組みと課題 ・今後の取組み ・社内広報の取組み
3. ムラタセイサク君のデモ



◆6 / 13 (金)

「オムロンのグローバル & グループ社内広報」
オムロン グローバル戦略本部コーポレートコミュニケーション部経営基幹職 竹廣 洋児

◆7 / 25 (金)

「社内報からグループ報へ 新たなリクルートグループらしさの探求」
リクルートホールディングス 中長期戦略室グループ社内広報部 後藤 朋美

◆8 / 30 (金)

「MizkanHoldings の社内コミュニケーション」
～変化する環境の中で求められる新たな社内広報～
Mizkan Holdings コーポレートコミュニケーション本部 齊藤 裕子

◆9 / 26 (金)

「デンソーのグローバル電子社内報を中心としたクロスメディアの情報発信」
デンソー 広報部社内広報課担当係長 宇佐美 友梨

◆10 / 25 (金)

「週刊ダイヤモンド作り方」
ダイヤモンド社 雑誌編集部 週刊ダイヤモンド編集部 編集長 田中 博

◆11 / 22 (金)

「社内報の価値を考える」
～社内広報の可能性を楽しむ～
メイテック 執行役員 清水 園江

〈敬称略〉

◆第1期～第3期参加企業

〈敬称略 五十音順〉

アイシン・エイ・ダブリュ	花王	ソニーLSIデザイン	日東電工	古河電気工業
アイシン精機	加賀電子	ソニーフィナンシャルホールディングス	日本ハム	ポリプラスチックス
アヴァシス	ガリバーインターナショナル	第一生命保険	日本紙パルプ商事	丸井グループ
曙ブレーキ工業	キトー	武田薬品工業株	日本触媒	丸紅
アサヒグループホールディングス	京セラ	竹中工務店	日本GE	三井化学
味の素	KDDI	中国電力	日本精機	三井不動産
アステラス製薬	KDDIまとめてオフィス	DIC	日本電気	三井物産
アマノ	国分	TDモバイル	日本たばこ産業	Mizkan Holdings
アルプス電気	コクヨ	電源開発	日本特殊陶業	三菱ケミカルホールディングス
イオン	国連開発計画	デンソー	ノーリツ	三菱重工業
岩崎電気	サントリーホールディングス	電通パブリックリレーションズ	ノバルティスファーマ	明治ホールディングス
岩谷産業	CSKサービスウェア	一般財団法人 電力中央研究所	野村貿易	メイテック
江崎グリコ	ジーフィット	東洋ゴム工業	ハーゲンダッツジャパン	森ビル
NOK	JFRオフィスサポート	トクヤマ	バイエル薬品	ヤマハ発動機
NTTデータ	シチズンセイミツ	凸版印刷	阪急電鉄	ライオン
王子ホールディングス	シチズンホールディングス	豊田通商	阪急阪神ホールディングス	リクルートコミュニケーションズ
大阪ガス	鈴木商館	豊田中央研究所	バンダイ	リクルートホールディングス
岡村製作所	スズケン	トヨタファイナンス	日立化成	リクルートマーケティングパートナーズ
オムロン	鈴与ホールディングス	トヨタメディアサービス	日立ライフ	リコー
オリエンタルランド	スタンレー電気	永谷園	富士電機	歴史街道推進協議会
オリオン機械	生活協同組合連合会コープネット事業連合	西日本旅客鉄道	ブラネット	YKK
オリンパス	セブン銀行	日清オイリオグループ	ブリヂストン	ワコールホールディングス

◆参加要領

【年間参加の同時お申込みでお2人目から半額料金とさせていただきます】

★法人会員企業は下記当会HPでご確認戴けます。

★分割支払い、代理参加等可能です。お気軽にご相談下さい。通信費・資料代等の一切を含みます。

★合宿研究会や例会終了後の懇親パーティの特別会合は別途実費となります。

《年間参加費》正会員：**237,600**円（本体価格：220,000円）

一般：**270,000**円（本体価格：250,000円）

《一日参加費》正会員：**32,400**円（本体価格：30,000円）× 回（受講希望日）

一般：**35,640**円（本体価格：33,000円）× 回（受講希望日）

《お申込方法》◆下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。請求書をお送りいたします。

《申 込 先》一般社団法人企業研究会担当：村野 E-mail：murano@bri.or.jp

〒102-0083東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

TEL：03-5215-3550 FAX：03-5215-0951～2 URL：https://www.bri.or.jp

第4期 社内広報担当者交流会議 申込書 FAX:03-5215-0951

☐ 会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申込みます。

申込日：____年 ____月 ____日

140147		第4期 社内広報担当者交流会議 申込書	
会 社 名		会社住所	〒
①氏 名 (フリガナ)		TEL	
		FAX	
部課・役職		E-mail	
②氏 名 (フリガナ)		TEL	
		FAX	
部課・役職		E-mail	
受講希望日			

※1日単位での受講をご申し込みの方は希望日をご記入下さい。

※申込書にご記入頂きました個人情報、交流会議に関する確認・連絡及び弊社主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。